

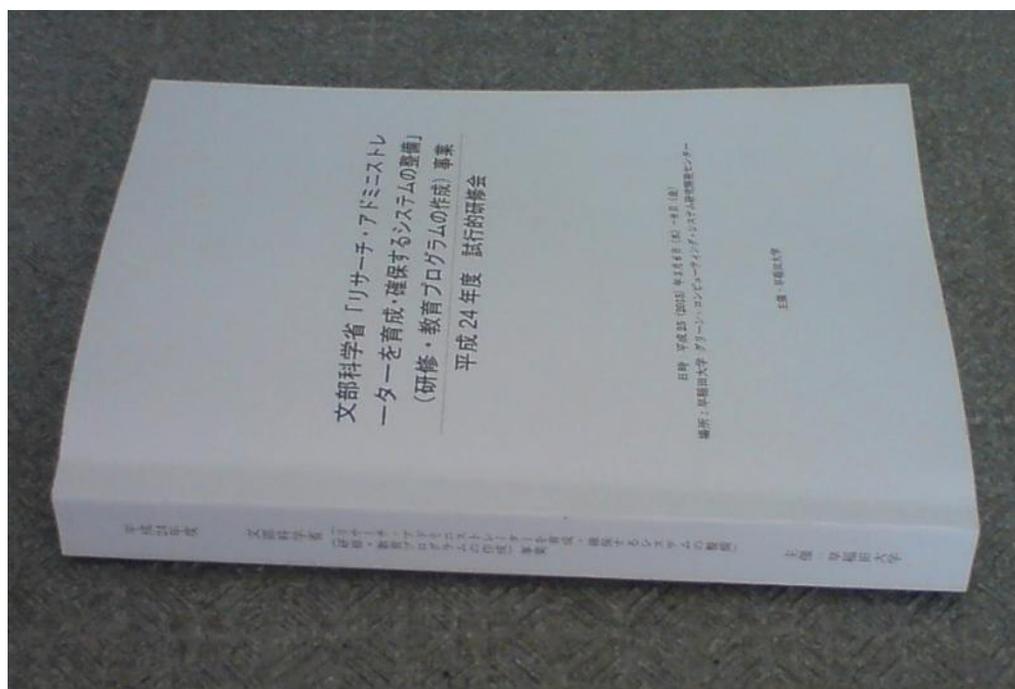
# 試行的研修会の実施(2013年3月6-8日)

➤ 86名のURAが参加。

システム整備校、RU11、2011年度アンケート調査回答校、その他

	機関数	人数
採択校	15	68
採択校以外	7	18
合計	22	86

➤ 当初は主に初級を想定。実際には中上級も多数参加



教材(554ページ、28mm)

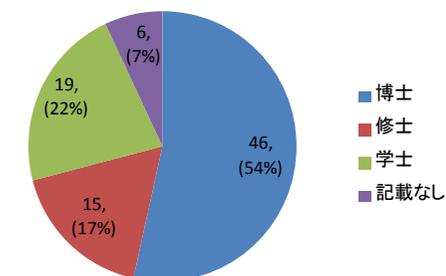


# 試行的研修会参加者プロフィール

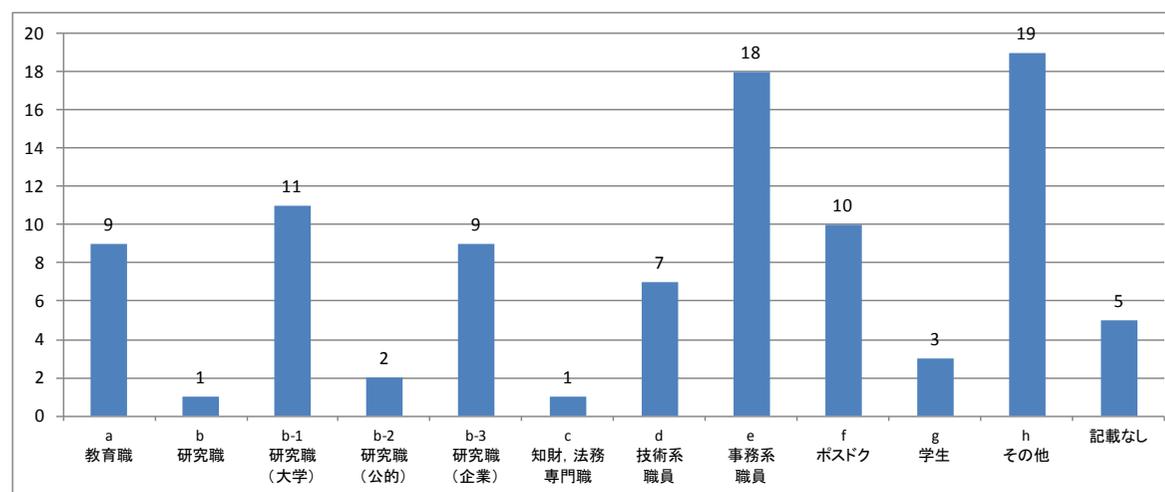
システム整備採択校		
	機関名	人数
1	信州大学	7
2	新潟大学	3
3	東京大学	7
4	東京農工大学	3
5	筑波大学	1
6	京都大学	3
7	福井大学	2
8	九州工業大学	3
9	九州大学	11
10	山口大学	6
11	名古屋大学	2
12	東京女子医科大学	9
13	北海道大学	4
14	大阪大学	4
15	金沢大学	3

自主整備校		
	機関名	人数
16	大阪府立大学	4
17	芝浦工業大学	4
18	関西大学	5
19	学習院大学	1
20	岡山大学	1
21	東京理科大学	2
22	早稲田大学	1

年齢層は45歳未満が69%、30代が最も多い

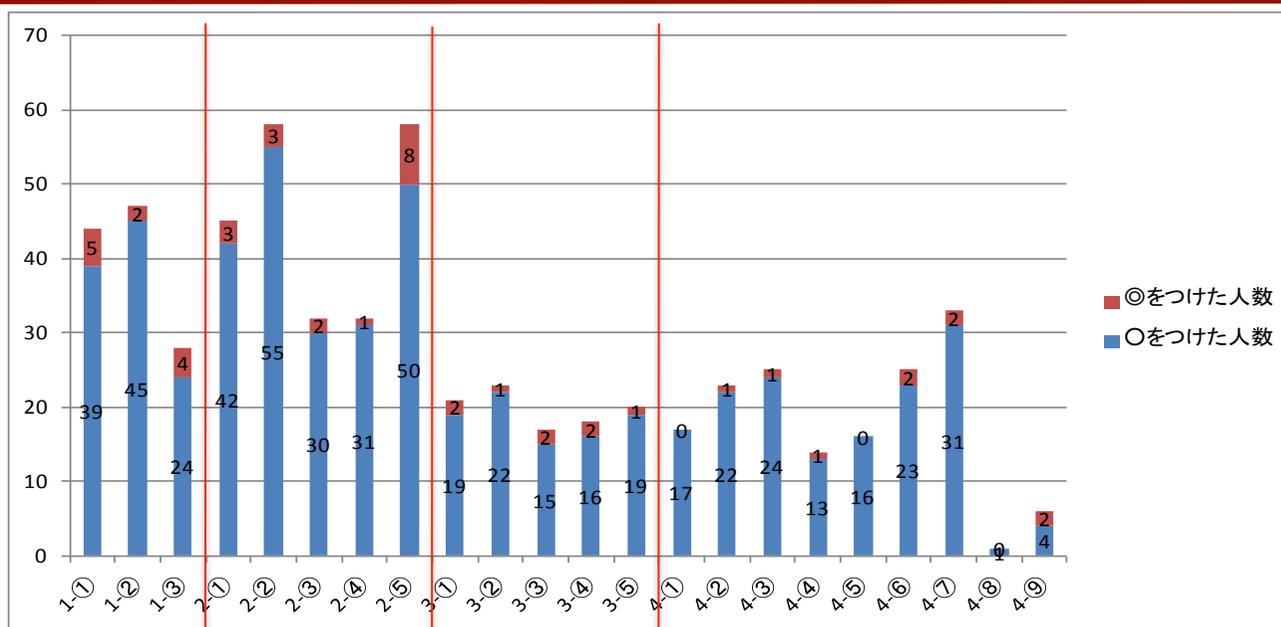


受講者の最終学位



受講者の前職

# 試行的研修会でのアンケート調査



URAの業務は、RD、  
プレアワード中心で  
あることがわかる

受講者が現在担当している業務

スキル標準22のフレームワーク

<b>1.研究戦略推進支援業務</b>
1-① 政策情報等の調査分析
1-② 研究力の調査分析
1-③ 研究戦略策定
<b>2.プレ・アワード系想定業務</b>
2-① 研究プロジェクト企画立案支援
2-② 外部資金情報収集
2-③ 研究プロジェクト企画のための内部折衝活動
2-④ 研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整
2-⑤ 申請資料作成支援

<b>3.ポスト・アワード系想定業務</b>
3-① 研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整
3-② プロジェクトの進捗管理
3-③ プロジェクトの予算管理
3-④ プロジェクト評価対応関連業務
3-⑤ 報告書作成業務
<b>4.その他業務</b>
4-① 連携支援業務(教育)
4-② 連携支援業務(国際)
4-③ 連携支援業務(企業)
4-④ 発明開示関連業務
4-⑤ 研究機関としての発信力強化推進
4-⑥ 広報関連業務
4-⑦ イベント開催関連業務
4-⑧ 安全管理関連業務
4-⑨ 倫理・コンプライアンス関連業務

# 初級・中級での有用性と理解度のクラスタ分析

2)-3 両者にとっての有用性と理解度(全体)

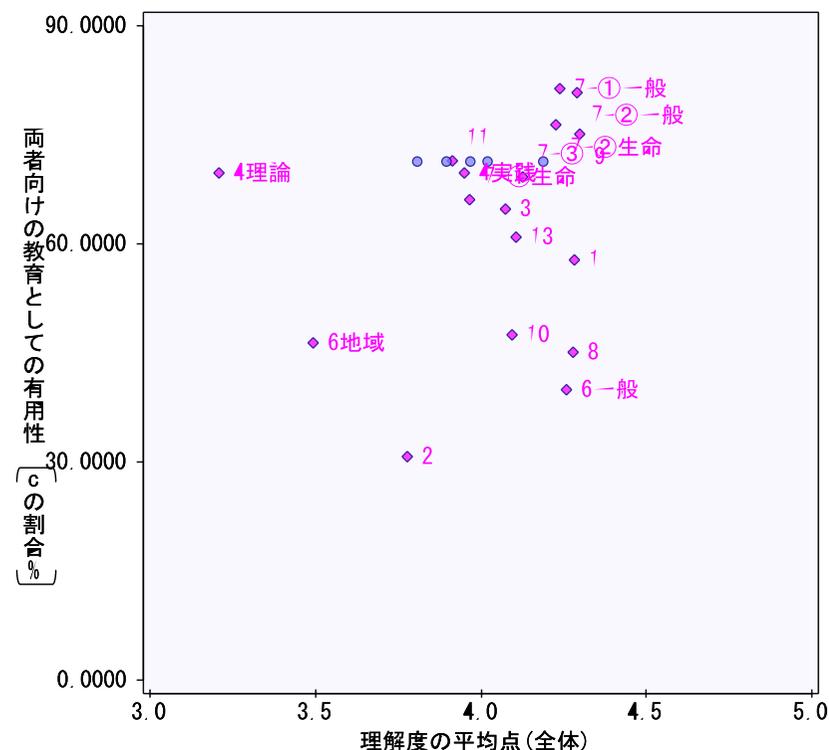


図6 経験者にとっての有用性と理解度(全体)の散布図  
(有用性は、「c両者に有用」の回答割合(%))

2)-5 経験者にとっての有用性と理解度(2年以上5年未満)

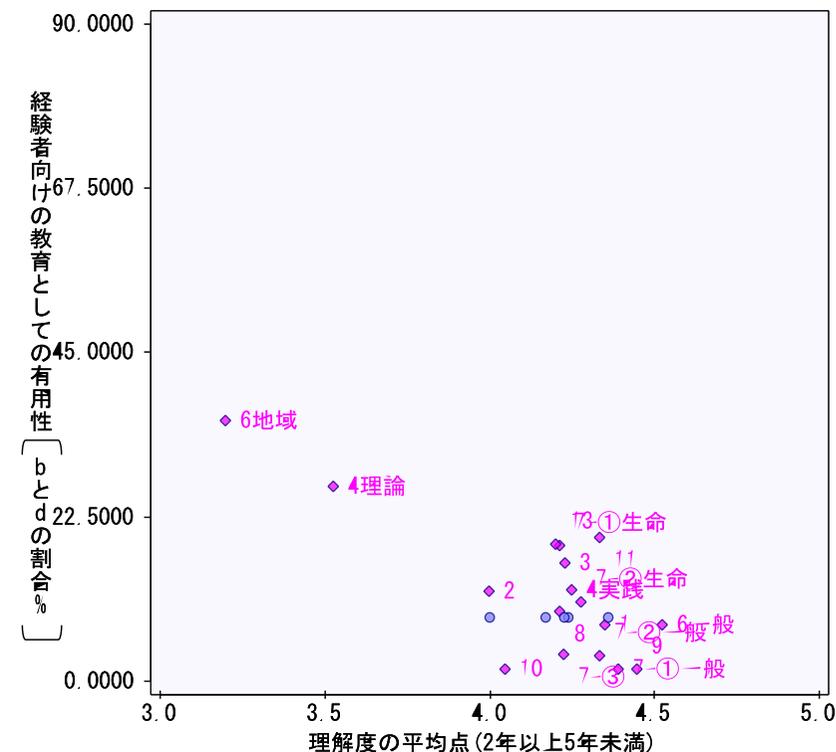


図8 経験者にとっての有用性と理解度(2年以上5年未満)の散布図  
(有用性は、「b経験者に有用」、「dどちらかといえば経験者に有用」の回答割合(%))

- |              |              |                 |
|--------------|--------------|-----------------|
| 1.大学マネジメント   | 7-①.研究倫理・一般  | 10.研究費管理一般      |
| 2.RAとは       | 7-①.研究倫理・生命  | 11.研究企画(手法)     |
| 3.科学技術政策     | 7-②.利益相反・一般  | 12.研究企画(BP)女子医大 |
| 4.研究力調査(理論編) | 7-②.利益相反・生命  | 12.研究企画(BP)北大   |
| 4.研究力調査(実践編) | 7-③.安全保障輸出管理 | 12.研究企画(BP)九大   |
| 6.産学連携・一般    | 8.申請・報告書作成支援 | 12.研究企画(BP)金沢大  |
| 6.産学連携・地域    | 9.広報とアウトリーチ  | 12.研究企画(BP)理化学  |
|              |              | 13.成果報告・評価      |

# 改訂版科目編成(初・中級者対象に教材として起こすもの)

形式	講義科目名	選択	試行 番号	対応 スキル	担当(敬称略)
テキスト	<b>最初に受講すべき基礎的・共通の科目</b>				
	大学マネジメント概論		1		東京大学
	リサーチ・アドミニストレーター概論		2		理化学研究所
	<b>専門科目A(調査、企画)</b>				
	科学技術政策概論		3	1-1	科学技術振興機構
	研究力調査・分析入門		新	1-2	早稲田大学
	研究力調査・分析手法		4	1-2	早稲田大学
	※ 研究プロジェクト企画手法概説		11	2-1	早稲田大学
	<b>専門科目B(研究事務など)</b>				
	研究評価対応		13	3-4	京都大学
	研究費管理		10	3-3	早稲田大学
	申請書・報告書作成支援		8	2-5,3-5	早稲田大学
	<b>専門科目C(コンプライアンス)</b>				
	大学とコンプライアンス概論		新	4-9	九州大学
	利益相反総論		7-3	4-9	産業技術総合研究所
	ライフサイエンスと利益相反		7-4	4-9	東京女子医科大学
	研究倫理総論		7-1	4-9	産業技術総合研究所
	ライフサイエンスと研究倫理		7-2	4-9	東京女子医科大学
	大学と安全保障輸出管理		7-5	4-9	九州大学
	<b>専門科目D(対外連携活動)</b>				
	大学と知的財産マネジメント		5	3-2,4-4	
	※ 産学連携概論		6-1	2-4,3-1,4-3	大阪大学
	※ 地域連携概論	選択	6-2	2-4,3-1,4-3	九州工業大学
	<b>専門科目E(アウトリーチ)</b>				
	研究活動と広報		9	4-6	東京農工大学
	研究機関としての発信力強化		新	4-5	大阪大学
イベント開催関連業務		新	4-7	大阪大学	

◆ 講義科目構成は、スキル標準の  
リサーチデベ  
ロップメント、  
プレアワード、  
ポストアワード、  
その他の順

# 改訂版科目編成(ケース演習等)とスケジュール

形式	講義科目名(案)	選択	試行番号	対応スキル	担当(敬称略)
<i>トピックスに応じた個別セミナー</i>					
各大学内 で対応	大学の研究戦略(各大学別)			2-1	各大学
セミナー	科学技術政策動向(新制度・公募情報を含む)			2-2	省庁・独法
<i>ケース演習科目</i>					
ケ ー ス 演 習	プロジェクト企画		12	2	東京女子医科大学
					北海道大学
					九州大学
					金沢大学
	理化学研究所				
連携支援業務(国際ほか)			4-2		
<i>既存の専門講習の活用</i>					
専門講習	安全管理関連業務			4-8	各大学

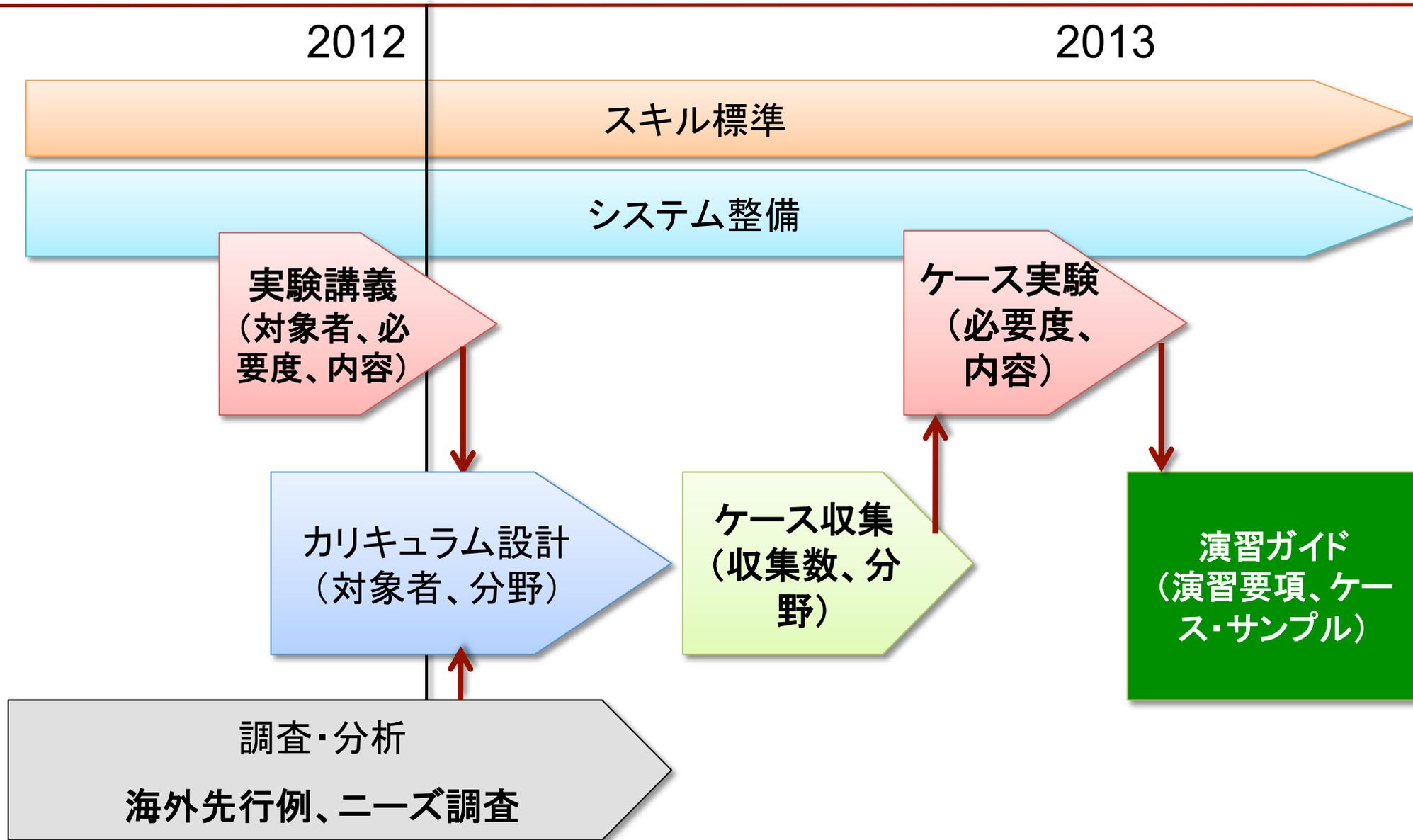
※ケース併用が特に必要

- ◆プレアワードは、各大学に特化したセミナー、トピックに応じた省庁セミナーも活用
- ◆ケース演習との併用も一部必要
- ◆ケース演習は中・上級者を対象
- ◆安全管理は各大学の専門講習で対応

教材作成スケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
執筆者	執筆			確認		
事務局				活用ガイド 編集		
外注					媒体	

# プログラム作成の手順(ケース演習(中・上級者))



# 今後の課題と方向性

- URAに特化した機能を抽出した初中級向け公開教材
  - 達成度
  - 改訂の継続
- 普及方法と活用方法
  - 全科目のスクーリング
  - URAシンポジウム、RA研究会等で、一部を抜き出して研修
  - 中・上級ケース演習の継続
  - JST JREC-IN Webラーニング
- 認定制度
  - 大学連携コンソーシアム、各大学が科目認定課程を持つ？
  - URA-Japanの設立